

# 平成30年度 上田市立城下小学校 学校自己評価（中間報告）

評価基準⇒ A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった (◎：1番多い評価 ○：2番目に多い評価)

学校教育目標	めざす子どもの姿（中期的目標）
まなび きたえ ともにのびる子	<ul style="list-style-type: none"> <li>友の話を聞き、自分の考えを伝え合い学びを深めようとする子</li> <li>心と体の健康を考え、進んできたえようとする子</li> <li>互いに支え合い、思いやりの心を育もうとする子</li> </ul>
今年度の重点目標 「指導の基盤になる集団の育成」	
1	授業のユニバーサルデザイン化による誰もが安心して学べる環境づくり
2	お互いが認め合い高め合える、人間関係を大事にした集団づくり
3	ルールとマナーが定着した安心して自己表現できる集団づくり

総合評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの話を聞き考えを伝えるだけでなく、考え合うことができるようになってきた。「深い学び」の姿をしっかりとイメージして指導にあたりたい。</li> <li>外や体育館で元よく遊ぶ子どもたちの姿があった。</li> <li>子どもたちは様々な経験を通してお互いの長所・短所を認め合える人間関係ができてきた。保護者の協力的な姿勢もありがたい。家庭学習の提出率も高い。思考力の向上をめざし、日々授業改善に努めたい。</li> <li>思いやりとは個の力を考慮することだと気付くように、困っている友だちを助ける姿、寄り添う姿が見られた時に、そのよさを広めようしたい。</li> </ul>			
A	B	C	成果と課題 <☆：改善策>
	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>1時間の流れを一定にする、文章化する、意見を出しやすい雰囲気を作る等、安心して学べる環境づくりが進んでいる。</li> <li>☆クラスや個によってはまだ配慮が必要なので、学年間で情報交換をしたり、個別の支援を工夫したりする。</li> </ul>
	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>帰りの会で良いところ探しや、班、係活動の充実を心がけて、友だちを意識させている。お互いに気持ちよく過ごせるように声をかけあう姿が増えているが、子ども同士の人間関係がまだ開かれていないところも見られる。</li> <li>☆もっと仲間を大切にできるように、教師が関わりながら人間関係づくりを進めていきたい。</li> </ul>
	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールが定着しないところをどうしていくのが課題である。</li> <li>☆いろいろ欲張って取り組むと徹底しないので、1つずつ焦点化して定着を見とどける。</li> </ul>

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	教育課程・学習指導	心の通じ合いを重視した指導の推進	協力して活動する場や互いの良さを認め合える場を設定しながら行事、学級経営、学習指導を進めることができたか。
		授業のユニバーサルデザイン化	どの子にもわかる・できる授業づくり、確かな学力が身についていく授業づくりができたか。
	家庭学習の充実	学び合いを大事にし、考えを交流する場の設定	国語の読解力、算数の思考力の向上を目指し追究の場でお互いの考えを伝え合い、話し合う学習活動を設定しているか。
		家庭学習の充実	家庭学習の手引きを活用し、日頃の学習指導と連携させて家庭学習の習慣化がはかれたか。

A	B	C	成果と課題 <☆：改善策>
	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>帰りの会や学習のふり返りの場で、お互いのよさや協力の大切さがわかるようにしている。よかったことが残るように、紙に書いたりビー玉の数に置き換えたりして目で見えるように工夫しているが、他を認める力がついていないか、不安もある。</li> <li>☆よさを認め合う場作りについて、学年内で情報交換をしてより良いものにしていく。</li> </ul>
	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究、研修が充実しているので、児童の個人差があるが「どの子にもわかる授業」をめざして、授業の見通しの持たせ方、黒板の掲示物や板書、学習プリント等に考慮して、わかりやすい授業づくりを実践している。</li> <li>☆課題の取組には差があるので、ペア・グループ学習で活動したり、個別の指導を工夫したり、どの子も理解が進むように学習形態を変えて指導する。</li> </ul>
	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>考えを交流する場を設定しているが、意図した交流にならないことがある。話し合いが思考力、読解力向上につながるようにしたい。</li> <li>伝え合う、話し合うだけではなく、次回使える知識を育む勉強をしてきている。</li> <li>学年で用意してもらった学習カードを活用し、根拠を持った考えが書けるよう支援している。</li> <li>☆日常的に、ひとり・ペア・グループ等で考える授業の流れを作り、子どもたちが考えを出しやすいようにする。</li> </ul>
	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の習慣化を図りある程度身につけてきたので、「手引き」を意識して家庭と連携し、個人差を減少させたい。</li> <li>☆授業で学んだことの復習、考える力を高める補充、自主学習の充実を図る等、目的を持って家庭学習を出すようにしたい。「紡ぐ（つむぐ）」の自主学習の欄を活用する。</li> </ul>

生徒指導	明るい挨拶や返事の励行	進んで行く挨拶や気持ちよい返事を繰り返し指導し、教師が実践することで、子ども達に広がっていったか。	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい挨拶、気持ちよい返事、あと一歩。続けて指導をしていきたい。</li> <li>・自分から挨拶する子は増えてきてはいるが、広がりやが不十分だと感じることもある。教師から挨拶すると気持ちのいい挨拶が返ってきている。</li> <li>☆根気よく指導し、まず職員が挨拶をすることを心がけるが、児童会の活動としても取り組み、子ども自らが挨拶をする雰囲気や気持ちを作っていく。</li> </ul>
	生活規範意識の育成 (基本的な生活のルールの確立)	集団生活のきまりや約束に関する日常的な指導を進めたか。(遊びの約束の徹底、安全な廊下歩行、授業を受けるルールの指導、無言清掃の取り組みに向けた指導等)規則正しい生活習慣が身につけてきたか。	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その都度注意したりルールがある意味を教えたりすれば、前向きに直そうとするが、なかなか定着しない。</li> <li>・無言清掃について、学級独自で取り組むよりも、学年や全校で取り組むことで意識が強まりルールが定着すると感じている。みんなが意識することで、廊下歩行や清掃への姿など、学校全体が4月より落ち着いてきていると思う。</li> <li>☆1つのことにポイントをしぼり、指導の焦点化をする。特に無言清掃について、全校で指導の方針をそろえ、同一歩調で指導にあたる。児童が先頭に立って取り組むと意識が変わるので、児童会の活動の中で発信できることを考えたい。</li> </ul>
	いじめ・不登校を未然に防ぐ取り組み (温かな人間関係)	自他の良さを認める場の設定や日常的な人権同和教育、自己有能感を高める教育活動を行うことができたか。子ども達の様子に目を配り、友達関係や実態をつかみきめ細やかな保護者との連絡を心がけることができたか。	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談週間や日々の学校生活の様子で子どもたちの実態を把握し、トラブルや相談にはすぐに対応するように心がけることができた。他の職員との情報交換にも努めた。</li> <li>・道徳の時間を大切にして、豊かな心が育つように心がけた。友だちのよさを認める眼のつけどころがわかってきた。</li> <li>☆子どもの表情や会話に表れる困り感をアンテナを高くしてキャッチし、早期に対応するように心がける。</li> </ul>
学校運営	地域との連携	地域で活躍している方々と連携して、地域のものや人と関わる活動や交流ができたか。	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域めぐり、米作り、絵手紙、習字、社会見学等、様々な学習場面で多くの支援をいただき、交流することができている。</li> <li>・やや決まった交流になっているので、総合的な学習の時間等、子どもの探究的な学習への関わりができるとうい。</li> <li>☆学習の充実をめざし、人材リストを活用して積極的に交流をしたい。</li> </ul>
	保護者との連携	参観、行事、懇談、環境整備等、保護者の方々の理解や協力を得ながら教育活動を展開しているか。	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観日や行事、PTA作業には、大勢の保護者の皆さんに参加いただき教育活動を応援していただいている。とても協力的で感謝している。</li> <li>・理解が得られるように、参観日の懇談会で学級全体の様子を紹介したり連絡ノートで個々の子どもの姿を伝えたりして、これからも連携を図りたい。</li> <li>☆PTA主催のふれあい交流、バザー、講演会等で教育活動に協力を得ている。今後も保護者の声や要望に真摯に耳を傾け、学校として改善できる点や連携できることを共に考えたい。</li> </ul>
	学校からの情報発信	学校、学年、学級だより、学校ホームページを通して情報をタイムリーに発信できたか。	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年通信は定期的に出しているが、学級通信の発行は不定期である。</li> <li>・何かイベントがあったり、大事な連絡があったりした時は、学級通信や部活便りを出している。</li> <li>☆学習の準備にも時間がかかるので、お便りは回数にこだわらず、子どもの活動を理解いただくように、タイムリーに発信したい。</li> </ul>
	研修	授業づくり研修	国語・算数・道徳等の一人一公開授業を通して、自らの課題に向けて授業改善を進められたか。	○	◎